

P T A が「お米守り隊」結成

取組主体: 瀬戸市

連携団体: 瀬戸市立西陵小学校 P T A

実施時期: 平成 24 年 6 月 8 日 (金) 他 4 回

実施場所: 瀬戸市

対象及び参加人数: 市内の保護者 36 名

[取組の内容] キーワード : PTA、小学生、米作り体験

瀬戸市役所産業課の支援で、田をお借りすることができたのを機に、P T A が「お米守り隊」を結成しました。食育の一環として稲作に取り組む 5 年生と一緒に、地域の方に教えていただきながら、田植えや稲刈り体験を行いました。

稲作体験をするのは初めての人が多く、体験後は筋肉痛などで大変でしたが、みんなで収穫祭までがんばりました。

刈り取った稲は、一部を家に持ち帰り、手作業で脱穀、籾すり、精米を行い、家族みんなで分け合っていたきました。一粒のお米の大切さを実感するとともに、農家の方のご苦労に気づき、地産地消への意識も高まった体験でした。


<http://ameblo.jp/utahime-m5/theme20-10059303480.html>



[活動の成果、今後の課題]

体験後の感想では、今後も続けてほしいという意見が多く、稲作への理解とともに、食への感謝の気持ちが深まった様子がわかりました。

子どもの食育の授業を保護者が追体験することで、家族で食について話し合ったりする機会が増え、食べ物に対する感謝の気持ちや食べようとする意欲が高まりそうです。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	 食を通じて豊かな心を育むために	2 体験や交流を通じた食の理解促進
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

親子で学ぶ農業塾

取組主体: 瀬戸市

連携団体: JA あいち尾東農業協同組合

実施時期: 平成 24 年 5 月 12 日(土)他 9 回

実施場所: 瀬戸市

対象及び参加人数: 市内の親子 8 組 25 名

[取組の内容] キーワード：親子、農作業体験、調理実習

次世代を担う子供たちとその保護者を中心に野菜の植え付けや収穫、田植えや稲刈りなど一連の農業体験を通じて「食」の重要性、意義、農業の果たしている役割などを肌で感じていただくことを目的に実施しています。

春には、なす、きゅうり、トマト、ピーマン、トウモロコシなどの苗を植え付け、水田では田植えを、夏には植え付けた野菜の収穫や水田の田の草取りも体験しました。

秋には、はくさい、大根、ブロッコリなどに挑戦しました。

その間、農家から提供して頂いた地元で採れた野菜を使ったカレーライスの試食会やもちつきも体験しました。

また、調理実習を行い、収穫した大根を余すところなく使った「大根の葉の炒め物」や「切干大根漬け」、はくさいを使った「はくさいとハムのミルクスープ」などを作っておいしくいただきました。




[活動の成果、今後の課題]

田植えでは、初めての体験のため田んぼに脚を取られる子供たちが多くいましたが、田んぼには小動物も多く棲息し子供たちの歓声が響いていました。野菜作りでも手や服を汚しながらも親子の笑顔を見ることができました。

現在の子供たちは「体験」する場が少なく、体験から学ぶ大切さを提供できる環境づくりを今後も提供していくことが大きな課題であると改めて痛感しています。

また、調理実習では、慣れない手つきで包丁を握る子供たちに、親が優しく包丁の使い方を教える場面もあり、家庭で子供たちが調理の手伝いをするきっかけとなることや食材の大切さを少しでも学んでくれることを期待しています。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	 食を通じて豊かな心を育むために	2 体験や交流を通じた食の理解促進
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

食育体験教室

取組主体: 春日井市

実施時期: 平成 25 年 1 月 27 日 (日)

実施場所: 春日井市

対象及び参加人数: 市内在住の小学生とその保護者 9 組 (22 人)

[取組の内容] キーワード : 食育体験教室、小学生、保護者、食べ物、口


「食育体験教室」は身近な食材等を使い、食に対する関心を高め、望ましい食習慣や生活習慣につなげることを目的として、平成 22 年度から実施しています。

今年度は、『食べものと食べるお口』をテーマに、クイズや体験学習を行いました。体験学習では、ピンに入った玄米を棒でついて行う精米やごはんを食べて「1 口 30 回噛む」ことを体験しました。



[活動の成果、今後の課題]

精米体験では、糠が取れる様子を見ようと親子で順番に一生懸命ついていました。参加者からは、「玄米から白米になるまでの仕組みが分かった。」や「噛むことの大切さが分かったので、30 回噛むことを目標にしたい。」などの声がありました。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	 食を通じて豊かな心を育むために	2 体験や交流を通じた食の理解促進
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

親子料理教室「魚を食べよう」

取組主体: 江南市

実施時期: 平成 24 年 7 月 28 日 (土)

実施場所: 江南市立古知野西公民館

対象及び参加人数: 市内の親子 16 組 35 名

[取組の内容] キーワード : 夏休み、親子、魚料理、調理実習

江南市では、「食」を通して人との関わりや「食」への興味関心を高めることを目的として、毎年夏休みに親子料理教室を開催しています。今年で 4 年目を迎えました。1 年目は「いわしの蒲焼き」2 年目は「さばの銀紙焼き」、3 年目は「あじのアクアパッツァ」そして、今年度は「メルルーサの香草焼き」を調理し、家族で食べる機会が少なくなった魚に、親しめるようにしました。

今年度は 16 組 35 名が参加し、魚料理以外にも鍋で炊飯をして作った「クリームピラフ」や、そうめんを揚げてサラダのトッピングにした「ぱりぱりサラダ」、ミキサーで簡単にできる「ジェラード」等を作りました。初めての体験に試行錯誤しながらも、料理をすることの楽しさを味わうことができたようです。




[活動の成果、今後の課題]

活動後のアンケートでは「班の人と協力して作れてとても楽しかった」「家ではあまり作らないので、思っきり料理ができて、満腹になり幸せな気持ちになった」という感想がありました。

本事業は、申し込み開始 3 時間で定員になるほど毎回大変好評です。

今後は、郷土料理や、地元の食材を使用した料理を作り、地元への理解を深められるような機会にもしていきたいと思っています。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	 食を通じて豊かな心を育むために	2 体験や交流を通じた食の理解促進
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

小学校家庭科調理実習サポート事業

取組主体: 小牧市

連携団体: 小牧市食生活改善推進員

実施時期: 平成 24 年 5 月 22 日 (火) 他 5 回

実施場所: 小牧市 村中小学校・小牧小学校

対象及び参加人数: 小学 5・6 年生

[取組の内容] キーワード : 食生活改善推進員、小学校、調理実習

小牧市で食育推進ボランティアをしている小牧市食生活改善推進員（ヘルスマイト）は、平成 23 年度から依頼のあった小学校に対し、家庭科の授業の調理実習において調理の補助をしています。

ヘルスマイトが調理実習を補助することで、「子どもたちが食の大切さを知り、料理をはじめのきっかけとなり、自分の健康を自分で守れる大人になって欲しい」という思いを伝えるべく、毎回小学校に伺っています。また、補助を行うときは、子どもたちが料理を楽しみと思えるように、次のことに配慮しながら事業を行っています。

自主性を尊重しながら、楽しく調理ができるようにする、調理内容や作業を確認しながら補助をする、公平に調理（切る作業など）できるよう配慮する、家でできるちょっとした工夫や、なぜその作業が必要かなどを伝える、家庭科の教科書を事前に読み、手順等の確認する



[活動の成果、今後の課題]

2 時間の授業で、子どもたちは、包丁が使えるようになったり、おいしい料理が作れるようになったり、毎回楽しそうな声が教室中に響きわたります。先生からは「一人でクラス全員の補助は難しいので、ヘルスマイトさんに来ていただくことによって、安全においしく調理実習を行うことができ、大変ありがたく思っています」との声をいただいております。また、ヘルスマイト自身も子どもたちの成長を見ることができるとてもやりがいを感じています。今後の課題としては、現在、依頼をいただいているのが 2 校だけなので、依頼が増えるようにしていきたいと思っております。

《子どもの感想》

私は家では料理をぜんぜんしたことがないので、上手にできるか心配だったけれど、どういうふうにするかを教えてくれたので上手に料理を作ることができました。そのときはとってもうれしかったです。本当にありがとうございました。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	2 体験や交流を通じた食の理解促進
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

今年はとれたよ！大きなお芋！

取組主体： 岩倉市北部保育園

平成 24 年 10 月 30 日（火）

実施時期： 12 月 4 日（火）

実施場所： 岩倉市北部保育園

対象及び参加人数： 園児 56 名

[取組の内容] キーワード： 保育園、サツマイモ、苗、収穫体験、焼き芋大会、お芋屋さん

北部保育園では畑で作物を育てています。5 月、1～5 歳児までそろって畑へ出かけて行き、みんなでさつま芋の苗を植えました。その後、10 月末までみんなで水やり、草取りをしてその成長を見守りました。

10 月末には大きなさつま芋がたくさんでき、掘るのに一苦労でした。昨年は収穫できなかったのに、一生懸命掘って出てきた芋を手にして「ヤッター！先生見てえ」の声。収穫の喜びを味わうことができました。

その芋は焼き芋大会を開いて“焼き芋”にし、12 月にはお店屋さんごっこでお芋屋さんの店を開き、“お芋のバター焼き”で味わいました。子どもたちは「おいしい、おいしい」と大感激でした。



[活動の成果、今後の課題]

自分たちで育てたさつま芋の成長を見守り、収穫できたことは、本当によかったと思います。昨年は不作で収穫して食べるには至らず、感動する場面がなかったので、豊作の今年はいろいろな場面で感動する子どもの姿がありました。さつま芋だけでなく、一緒に栽培していた夏野菜も豊作で子ども一人ひとりが自分の手で収穫できました。収穫したものは家にも持ち帰り、親子の会話も弾んだようで、家庭での食育につなげることができました。

今回は、お店やさんごっこの芋を調理室で職員が用意したので、子どもたちが調理に関わることはありませんでした。次回はぜひ収穫したもので子どもたちとクッキングに取り組みたいと考えています。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	🍷 食を通じて豊かな心を育むために	2 体験や交流を通じた食の理解促進
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

給食センター施設見学と給食試食会

取組主体: 長久手市

実施時期: 平成 24 年 11 月 15 日 (木) 他 1 回 **実施場所:** 長久手市

対象及び参加人数: 市内在住、在勤者で食育などに関心を持っている個人または団体 30 名

[取組の内容] キーワード : 給食センター、施設見学、給食試食、地域

長久手市では、給食センターの施設見学及び給食の試食をとおして、給食センターの運営や給食の状況について広く市民のみなさんに知っていただき、「食」について考えるきっかけ作りの一端になるよう給食センター施設見学と給食試食会を実施しました。

平成 24 年度は市内在住、在勤者で食育などに関心を持っている個人または団体の方を対象に 11 月 15 日、1 月 29 日の 2 回実施しました。




[活動の成果、今後の課題]

給食を作っている様子の見学、給食ができるまでの説明を聞いていただき、給食の試食を行い、給食について理解していただく良い機会となりました。

参加者の方々から「安心安全を重視され、とても衛生的な調理環境と調理作業を実現されていることに驚きました。」「家庭的な味付けでおいしかったです。大量調理ですが食材の切り方もきれいで食べやすかったです。」(アンケートから抜粋) 等々の感想をいただきました。

今後も定期的に関催していきたいと考えています。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	 食を通じて豊かな心を育むために	2 体験や交流を通じた食の理解促進
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

児童体験農業

取組主体: 半田市

連携団体: 農業生産組合、農業委員会 他

実施時期: 通年

実施場所: 各圃場

対象及び参加人数: 小学校(2校)及び保育園(3園) 約390人

【取組の内容】 キーワード：小学生、幼稚園児、農作業体験、米、サツマイモ

児童体験農業として、小学5年生を対象に稲作体験を実施しています。昔ながらの手作業の稲作(田植えから脱穀)を体験してもらい、主食である米がどのように生産されるのかという学習を通じ、農業に対する理解を深めてもらいます。

また、保育園児を対象としては、さつまいも作り(苗植えから収穫)を体験してもらい、自然と直接ふれあう農業の素晴らしさや命の大切さを実感してもらい、農業への関心を高めてもらいます。



【活動の成果、今後の課題】

稲作体験を行った児童からは「たくさんのお米ができてうれしい」、「お米作りの大変さがわかった」、自分たちで育てたお米でおにぎりを作って「苦労したけど美味しい」などの感想がありました。

また、お米について自分たちで調べ、発表するなど学習意欲の向上にもつながりました。

さつまいも作り体験を行った園児からは、「たくさん収穫できてうれしい」、「大きなお芋ができてうれしい」などの感想がありました。

土に触れ、畑に住む虫たちに触れ、たくさんのお芋が収穫でき、最高の笑顔で農業のすばらしさを体験していただきました。

今後、近くに圃場がない小学校・保育園について、どのように対応していくのが課題です。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	2 体験や交流を通じた食の理解促進
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

こども料理コンクール ビストロおぶちゃん

取組主体: 大府市

連携団体: 大府市健康づくり食生活改善協議会

実施時期: 平成 24 年 11 月 18 日(日)

実施場所: げんきの郷あすなる舎

対象及び参加人数: 応募：182 組、グランプリ戦出場：5 組

[取組の内容]

キーワード：小学生、保護者、地産地消、調理コンクール、学校給食・レストラン提供

小学生ペア及び小学生とその保護者を対象に、「大府のおいしい野菜を好きになろう！魚をもっと食べよう！」をテーマに、大府産の野菜を1品以上と魚（魚、エビ、イカ等）を1品以上使って、オリジナルレシピを募集しました

182 作品の応募があり、書類審査で5組を選考しました。

11月18日、げんきの郷あすなる舎にて5組によるグランプリ戦を開催しました。実技及び試食審査を行い、優秀作品の表彰をしました。

また優秀メニューのPRとして、優秀作品のうち1作品が2月の学校給食メニューに採用されました。そして、一般向けに市役所レストランで優秀作品のうち2作品をバイキングメニューの中に入れて、12月に3日間提供をしました。約300人が利用し、普段の3倍の利用がありました。



[活動の成果、今後の課題]

学校の夏休みの宿題の中のひとつになっていますが、自由課題であるため、今後も応募数が増えていくかが課題です。今後も給食メニューの採用やレストラン提供など、こどもの励みになるような仕掛けを考えていきます。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	2 体験や交流を通じた食の理解促進
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

『最強のしょくまるカレー』コンテストを開催

取組主体: 刈谷市

連携団体: 食まるファイブ応援団刈谷

実施時期: 平成 24 年 10 月 28 日 (日) 他

実施場所: 刈谷市

対象及び参加人数: 市内小学校 5・6 年生 672 件

[取組の内容] キーワード : しょくまるファイブ、地産地消、カレー、レシピ募集、給食提供

刈谷(愛知教育大学)で生まれた食育キャラクター「しょくまるファイブ」。キャラクターの名前は、りきまる、ベジまる、にくまる、フルーツまる、ほねまる。それぞれ、食事バランスガイドの主食、副菜、主菜、果物、牛乳・乳製品の各部分に由来しています。合言葉は「5色がそろって体にいいね!」。

刈谷市では、子どもも大人も大好きな、さらには一皿でいろいろな食材(栄養)をとることが出来る料理「カレー」に着目し、夏休みの期間を活用し、親子で話し合い、5色みんなが含まれた、さらには、地元の刈谷や愛知県の食材を使った、栄養満点で地産地消もバッチリの『最強のしょくまるカレー』のレシピを小学校 5・6 年生から募集し、実に 672 件もの応募を頂きました。

そして、その中から書類審査を経て選出の 5 つのレシピを考案した親子 5 組に参加をいただき、しょくまるファイブの生みの親である愛知教育大学の西村敬子名誉教授を審査員長として、10 月 28 日に親子での調理や食味審査などによるコンテスト本選を開催しました。

その結果、刈谷の特産物である「切干大根」を活用した『切干大根アンドパイナップルカレー』(集合写真は左から 2 番目)が見事、グランプリに輝きました。



[活動の成果、今後の課題]

グランプリレシピの『切干大根アンドパイナップルカレー』は給食の献立となり、3 月 8 日、市内 15 の小学校、6 つの中学校および 16 の幼稚園で子どもたちに提供されました。

考案してくれた児童は「頑張って親と一緒に考えたカレーがみんなに食べてもらえてうれしい。」と喜びながら、カレーを口に運んでいました。

また、同級生からは「パイナップルの甘みが良く効いていておいしい。」と好評でした。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	2 体験や交流を通じた食の理解促進
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

だいずプロジェクト

取組主体: 特定非営利活動法人だいずきっず **連携団体:** JA あいち中央、
一般企業授産所、NPO

実施時期: 平成 24 年 7 月～平成 25 年 2 月 **実施場所:** 高浜市内

対象及び参加人数: 西三河地区の親子約 50 組 170 名

[取組の内容] キーワード：大豆、種まき、収穫体験、豆腐作り、家族

豆に関する一連の活動、種まきから生育、収穫、収穫した大豆を用いての豆腐作りという、「自ら作って食べる」という一連の内容が1年を通じて体験できることをプログラムにした「だいずプロジェクト」という活動を実施しました。


私たちは、「食育」「共育」「Pay it forward」の3つのテーマを基に、子どもたちが生きる力を育んでいけるよう日々活動をしています。食べ物という生命に直結したところから、そのありようを問いかけ続け取り組むことで、食事をすることはもちろん、農作物体験を通じて生育過程を知ったり、ものごとのなりたちや変化などを、自分の身体を使って意識していくことが、感応力・対応力を育んでいく。これが食育の根幹であり、生きる力へと繋がっていく、と考えています。

参加形態は、各家族単位で、家族専用の畑を持っていただくことを基本とし、その畑で大豆を育て収穫をします。種まき後収穫までの間、畑の草取りや大豆の生育観察なども随時行います。観察していただいた内容を描いていただくコンテストも実施しました。また、屋外での活動時には、昼食を兼ねた食育ランチを実施し、子どもたち自らが調理し青空の下で食事をする機会を設けています。最終回では、収穫した大豆を用いての豆腐作りをしました。Web ページ：<http://daizukids.com>



[活動の成果、今後の課題]

大豆に関する知識を得たり、生育状況を知ったり、調理することを覚えるを通じて、「おいしい」「たのしい」「うれしい」を体感してくれている様子を伺うことができました。参加された保護者の方からは、「自分で進んで取り組んでいく子どもの姿に大きな成長を感じました」「普段はあまり野菜を食べないのに、大豆と野菜たっぷりのカレーを笑顔で食べていました」など、子どもの成長を実感する声を多くいただくこともできました。今後も、より多くの子どもたちが継続的に「おいしい」「たのしい」「うれしい」を体感できる活動に気軽にできるような環境を創っていかねばならないと思っています。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	 食を通じて豊かな心を育むために	2 体験や交流を通じた食の理解促進
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

さつまいもの苗さし会、収穫体験

取組主体: みよし市 **連携団体:** みよし市農業振興クラブ
(市内若手農家)

実施時期: 平成 24 年 5 月 25 日 (金) 他 4 回 **実施場所:** みよし市

対象及び参加人数: 市内の保育園児、幼稚園児の計 843 人

[取組の内容] キーワード : 保育園児、幼稚園児、サツマイモ、若手農家、連携

みよし市では、市内 5 保育園と 3 幼稚園の園児に食べ物の大切さや生産する喜びを知ってもらうため、毎年、「さつまいもの苗さし会、収穫体験」を実施しています。

市内の若手農家による団体「みよし市農業振興クラブ」の指導のもと、園児自ら畑で苗さしと収穫を体験し、農作物を育てることで、命の大切さや農産物がどのように生産されていくのか、また多くの労力や愛情がそそがれている食べ物に対して感謝する気持ちを、学ぶことができました。



[活動の成果、今後の課題]

収穫体験では、小さな苗から、大きなさつまいもができるという感動や、食べ物を育てることの楽しさや大変さなど、命の大切さを教えることができました。

今後も、このような機会を数多くもうけ、子どもたちの地元農業に対する興味をより一層深めたいと思います。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	🍎 食を通じて豊かな心を育むために	2 体験や交流を通じた食の理解促進
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

少年水産教室

取組主体: 愛知県

実施時期: 平成 24 年 7 月 31 日 (火) 他

実施場所: 南知多町他

対象及び参加人数: 県内の中学生

[取組の内容] キーワード : 水産業、中学校、少年水産教室、愛知県漁業士協議会、漁業体験

県では、海に関する知識や技術の学習の場を提供し、水産業に対する関心を深めてもらうことを目的として、中学生を対象に「少年水産教室」を開催しています。

平成 24 年度は 7 月 31 日に南知多町で、8 月 7 日に蒲都市で開催し、合計 29 名の中学生が参加しました。愛知県漁業士協議会の皆さんの指導による地曳き網の漁獲体験や、水産試験場職員の指導による地元で獲れた魚の分類などを行い、愛知県の水産業と水産物に対する理解を深めていただきました。



[活動の成果、今後の課題]

地曳き網ではたくさんの魚やカニなどが揚がり、参加した中学生は、「知らない魚がいっぱい」と歓声を上げていました。魚の分類では怖々と触りながら、グループで話し合い、図鑑とにらめっこしながら熱心に分類していました。

海の近くに住んでいる子ども達でも、意外と水産物へのなじみは薄いことを感じました。地元の海での漁獲を体験し、獲れた新鮮な魚を自分の目で見て、触れる体験を通じて、魚や水産業についての関心を高めてもらえたかと思えます。

今後もこうした取り組みを通じて、食と水産業についての関心を高めていきたいと考えています。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	3 食文化や食事作法等の理解と継承
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

給食で年中行事を楽しもう

取組主体: 刈谷市立小垣江幼稚園
(愛知県国公立幼稚園長会)

実施時期: 平成 25 年 3 月 1 日 (金) 他 7 回 **実施場所:** 刈谷市立小垣江幼稚園

対象及び参加人数: 幼稚園児 180 人

[取組の内容] キーワード : 幼稚園児、給食、年中行事、行事食

刈谷市立幼稚園の昼食は、市内の給食センターで作られる給食です。子どもたちは、温かくておいしい給食を、友達や先生と一緒に食べられることを毎日楽しみにしています。特に楽しみにしているのは、年中行事のある日の給食です。ひなまつりを間近に控えたこの日の給食には、いがまんじゅうが出ました。給食の配膳を始めると「あっ、いがまんじゅうだ」「食べたことある!」「私の家は、おひな様にお供えしたよ」と子どもたちの楽しい会話が始まります。「あんこが入っているんだよねえ」「つぶあんなかなあ、こしあんなかなあ」「ピンクのご飯が付いているよ」と知っていることや気付いたことを友達や先生と伝え合いながら、おいしそうに食べていました。行事にまつわる食べ物が献立に加わることで、見たり、においをかいだり、触ったり、味わったりして、口にすることの少ない食べ物でも関心をもって、食べることができました。この他にも、十五夜の時期には月見団子、クリスマスにはローストチキンやケーキ、正月には雑煮など、年中行事にかかわる食べ物をクラスのみさんと楽しんでいます。



[活動の成果、今後の課題]

幼稚園では、年中行事を保育に取り入れ、作品を作ったり、お楽しみ会を行ったりして、行事を楽しみながら由来や意味を知る機会としています。行事にまつわる食べ物が給食で出されることで、“この行事のときには、こういうものを食べるんだ”と行事に対するイメージが広がり、“こういう食べ物があるんだ”と食への関心も広がります。クラスのみさんと同じ物を食べ、五感を通して感じた様々なことを共有することができました。普段の食事とは少し違った、行事にまつわる食べ物を食べることを通して、豊かな心を育てていきたいと思えます。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	3 食文化や食事作法等の理解と継承
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

箸の持ち方わかったよ！おうちの人と一緒に給食を食べよう！

取組主体： 阿久比町立ほくぶ幼稚園
(愛知県国公立幼稚園長会)

連携団体： 給食センター

実施時期： 平成24年6月14日(木)
15日(金)

実施場所： 阿久比町立ほくぶ幼稚園

対象及び参加人数： 年少児親子44組

[取組の内容] キーワード：幼稚園児、保護者、給食試食、食事作法、箸の使い方

阿久比町立ほくぶ幼稚園では、毎年、年少組の親子を対象に給食試食会を行っています。子どもたちが幼稚園に慣れてきた6月ごろ、保護者の方も一緒においしく給食を食べたり、幼稚園での給食の様子を知ってもらったりしています。この機会に、給食センターの栄養士さんが毎年楽しい食育のお話をしてくれます。今年度は、畑の野菜を食べて体が元気になることを大きなパネルで楽しく知らせてもらったり、パペット人形のたべる君から上手な箸の持ち方や、食べる時の姿勢、良く噛んで食べることなどの大切さを教えてもらったりしました。子どもたちは、親子で箸の持ち方を確認したり、上手な持ち方に何度も挑戦したりして、箸への関心が高まりました。また、たべる君に応援してもらって、しっかり茶碗をもって姿勢良く食べ、野菜パネルで登場した野菜を発見し、喜んで食べる姿も見られました。



[活動の成果、今後の課題]

「あ！たべる君が見せてくれた持ち方だね。」「うん、ぼく箸持てるよ！見て！」

子どもたちは先生や友達と給食をおいしく食べる中で、箸の持ち方について興味津々です。「友達みたいにやってみよう」、「褒めてもらってうれしいな」など、食事のマナーが友達と楽しく身につけています。また、家庭でも箸や食事のマナーについてよく話題になると、保護者の関心も高まりました。

今後も、給食試食会が、親子で箸の持ち方や食事のマナーについての関心を深め、みんなで食べることのうれしさや楽しさも味わえる良いきっかけとなるようにしていきたいと思います。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	3 食文化や食事作法等の理解と継承
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

親子給食会

取組主体: 刈谷市立井ヶ谷幼稚園
(愛知県国公立幼稚園長会)

実施時期: 平成 24 年 6 月

実施場所: 刈谷市立井ヶ谷幼稚園

対象及び参加人数: 5 歳児親子 40 組

[取組の内容] キーワード : 幼稚園児、保護者、給食試食、説法、食事作法

刈谷市立井ヶ谷幼稚園では、食事作法として、礼儀作法や食べ物を大切にすること、人に感謝の気持ちをもつことが大切であると考え、親子給食会を開催しています。

まず、近くのお寺の住職さんに「いただきます」「ごちそうさま」を言うのは、食べ物を作ってください方や料理をしてくださる方がいるから自分たちがおいしいご飯を食べられること、そして、食事をするということは動植物の命をいただいていることの説法をいただきました。その後、親子で一緒に給食を食べました。食事の前に手洗いをし、テーブルをきれいに拭きながら食事の準備をしました。一緒に食べる中で、姿勢、箸の持ち方、おわんを持って食べる、嫌いなものでも食べてみる等、互いに意識しながら食事を楽しみました。



[活動の成果、今後の課題]

説法では、子どもたちが真剣に話を聞いていました。その後の給食では、かなり少食で箸が進まない子ども「今日は野菜も食べてみる。農家の人が作ってくれたんだよね」とはりきって食べたり、忘れがちな『ごちそうさまでした』のあいさつを手を合わせて言ったりと、意識することができ、よいきっかけとなりました。

保護者の方からは「おわんを持つことを忘れがちなので気をつけたい」「ひじをつかないでよい姿勢で食べる等のことを家庭でも知らせたい」、「待っている間に、手を膝にのせて待っている姿に成長を感じた」などの感想をいただき、食事の仕方について考えるよい機会となりました。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	3 食文化や食事作法等の理解と継承
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

手作り弁当で 箸の使い方を一人一人丁寧に

取組主体: 名古屋市立おりべ幼稚園
(愛知県国公立幼稚園長会)

実施時期: 通年

実施場所: 名古屋市立おりべ幼稚園

対象及び参加人数: 3歳児学級

[取組の内容] キーワード：幼稚園児、手作り弁当、食事作法、箸の使い方

名古屋市立おりべ幼稚園では、保護者手作りの弁当を持参し、保護者の愛情を感じながら先生や友達と弁当を食べ、楽しい雰囲気の中で幼児の“食”への興味・関心が高まるようにしています。そして、食事をする時の姿勢や箸の持ち方など、基本的な食事の作法を幼児が身に付けることができるように関わっています。

うまく箸が扱えない子には、教師が一人一人の手を取って持ち方を知らせたり、箸でつまんだものを幼児が口まで運ぶ感覚が分かるよう手を添えて補助をしたりしています。そして、“できた！”という喜びを味わい、教師の助けがなくても自分でもやってみようとする姿が見られます。教師は、子どもと共に喜び、その頑張りをしっかりと褒めます。

保護者にも、子どもの様子と園でのかかわりを伝え、子どもの成長ぶりを共に喜んだり、ときには、弁当の中味を箸でつまみやすい形や大きさにしてもらおうよう協力を依頼したりして、幼稚園と家庭が一緒になって子どもの育ちを支えています。



[活動の成果、今後の課題]

箸がうまく扱えるようになることで、自信となり、食べることにより意欲的になりました。

また、周りの子ども友達の姿に刺激を受け、箸が上手に使えるようになりたいと自分なりに挑戦したり、うまく使えたことを教師に見て欲しがったりするなどの姿が見られ、箸の使い方への意識が学級全体として高まりました。

箸の扱い方を子どもにどのように伝えたらよいかを戸惑っていた保護者も、具体的なかかわり方を知り、我が子のやる気に助けられ、家庭での対応が変わってくると思われます。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	3 食文化や食事作法等の理解と継承
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

地域の自然の中で

取組主体: 新城市立八名幼稚園
(愛知県国公立幼稚園長会)

実施時期: 平成 24 年 11 月

実施場所: 新城市立八名幼稚園

対象及び参加人数: 全園児 77 名

[取組の内容] キーワード : 幼稚園児、よもぎ摘み、団子、自然環境、食文化

新城市立八名幼稚園の周りは自然があふれています。本園では、豊かな自然を生かした食育を実践しています。春はよもぎを摘んでよもぎ団子を作ります。保護者もよもぎが生えている場所を教えてください。たくさんのよもぎを摘むことができました。白玉粉によもぎを混ぜて団子を作り、鍋でぐつぐつ煮ます。大きさや形も不ぞろいですが、おいしそうな“よもぎ団子”ができました。

秋はむかごごはんを作ります。炊飯器の中に、洗ったお米と散歩の途中で採ってきたむかごを入れてスイッチ・オン。保育室の中においしそうな香りが漂います。できた“むかごごはん”は自分たちでラップにくるみ、おにぎりを作って他のクラスの子どもたちにもおすそ分けをしました。

他にも野イチゴを摘んで食べたり、ノビルを摘んで家に持ち帰りおばあちゃんたちが酢味噌和えを作ってくれたという報告もあります。四季折々、自然の中で豊かな食文化に触れる体験をしています。




[活動の成果、今後の課題]

食を通して自分たちの地域や自然に興味や愛着をもつことができたと思います。

また、保護者も園での活動に関心をもち、温かく見守ったり、協力をしたりしてください。

食育活動をきっかけとして、「自然からの恵みの食」を世代間交流へとつなげていきたいと思っています。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	 食を通じて豊かな心を育むために	3 食文化や食事作法等の理解と継承
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

愛知の郷土料理や地場産の野菜を使った給食 おいしいね！

取組主体: 津島市立津島幼稚園 (愛知県国公立幼稚園長会) **連携団体:** 津島市学校給食共同調理場

実施時期: 平成 25 年 1 月 24 日 (木) ~ 30 日 (金) **実施場所:** 津島市立津島幼稚園

対象及び参加人数: 幼稚園児 87 名・職員 10 名

[取組の内容] キーワード：幼稚園児、給食、郷土料理、地産地消、献立カレンダー

津島市立津島幼稚園の給食は、津島市学校給食共同調理場で作られています。

毎年 1 月 24 日から 30 日までの一週間は、学校給食週間ということで愛知県の郷土料理や海部津島地区で作られている農作物を使った献立を学校栄養士が考え、幼稚園給食献立委員会で幼稚園栄養士と職員で園児にあった味付けや園児が食べやすくなるような工夫などを検討しています。

また、毎月 1 回行う幼稚園栄養士による食育指導でも郷土食や地場産の野菜を園児が実際に見たり触れたりして、親しみをもって学んでいます。

保護者には“こんだてカレンダー”を毎月配布し、地場産の野菜を使ったレシピも紹介しています。

(25 年 1 月 24 日~30 日 学校給食週間献立表)

24日	25日	28日	29日	30日
きしめん ぎゅうにゅう れんこんサンドフライ きしめんじる みつばのおひたし いろいろ	ごはん ぎゅうにゅう たらこのいなまんぼうつつみやき こしづねぎのひきずり にんじんのレモンあえ くつわ	ごはん ぎゅうにゅう ぎんなんいりかきまし たこいりハンバーグの みずなあんかけ かきたまじる	ごはん ぎゅうにゅう もろこのつくだに みそに こまつなのしょうがあえ がまごおりみかんゼリー	なめし ぎゅうにゅう てばさき れんこんだんごじる にまめ いちご
れんこん・にんじん きしめん・いろいろ	こしづねぎ・にんじん くつわ	ぎんなん・みずな にんじん	もろこ・こまつな がまごおりみかん	れんこん・いちご てばさき

[活動の成果、今後の課題]

郷土食は園児たちには馴染みのないものも多くありますが、友だちと一緒に食べることや「先生の小さいときよく食べたよ」と話をしたり、食育指導で実際の野菜を見たり触って親しんだりすることから、どの子もおいしそうに食べています。

また、保護者の中には、こんだてカレンダーのレシピを参考にして家庭で作るなど好評です。

今後も、子どもたちが郷土食に関心がもてるような工夫や何気なく食べている野菜が近くで作られていることなどを知らせ、近隣の畑の様子を話題にしたり、園菜園などにも取り入れたりしていけたらと思います。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	3 食文化や食事作法等の理解と継承
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

栄養教諭・学校栄養職員を対象とした食農教育研修会

取組主体: J A 愛知中央会

連携団体: J A 愛知西

実施時期: 平成 24 年 10 月 27 日 (土)

実施場所: J A 愛知西管内

対象及び参加人数: 愛知県下の栄養教諭・学校栄養職員約 30 名

[取組の内容]

キーワード：学校給食、栄養教諭、学校栄養職員、収穫体験、加工見学

学校給食は、子供たちに地域の農産物を食べてもらう絶好の機会であり、食の背景にある生産の現状、農業の価値、流通等について学んでもらうきっかけにもなります。

このため、J A 愛知中央会では県下の栄養教諭・学校栄養職員を対象として、生産現場の視察、体験等を通じた相互の交流を目的として研修会を開催しています。


平成 24 年度は J A 愛知西管内（稲沢市）において越津ねぎの圃場を見学し、実際にねぎの収穫を体験していただきました。また、同じく J A 愛知西管内の稲沢市祖父江町においてギンナンの圃場と商品になるまでの加工工程を見学していただきました。

昼食では、給食献立の参考にさせていただけるよう、それらの農産物を使った料理を味わっていただきました。



[活動の成果、今後の課題]

事後アンケートでは「農家の皆さんから直接話を聞ける機会がなかなか無いのでたいへん参考になった」、「地元に勤務していても地域の野菜について知らないこともあり、とても参考になった」、「この研修会で学んだことを子供たちに伝えたい」といった意見をいただき、栄養教諭・学校栄養職員のみなさんにとって有意義な研修会になったと思います。愛知県の特産物についてより多くの事を知っていただき、学校給食へ導入していただけるよう、今後もこのような研修会を開催していく予定です。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	 食を通じて豊かな心を育むために	3 食文化や食事作法等の理解と継承
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

ふれあい給食「愛知を食べる学校給食の日」

取組主体: 尾張旭市学校給食センター

連携団体: 市内生産者、市内小中学校

平成 24 年 6 月 19 日 (火)

実施時期: 平成 25 年 1 月 24 日 (木)

実施場所: 尾張旭市

対象及び参加人数: 旭丘小学校の 5 年生、旭小学校 3 年生

[取組の内容] キーワード : 愛知を食べる学校給食の日、小学生、地元農産物、イチジク

「愛知を食べる学校給食の日」にちなみ、ふれあい給食を 2 校で実施しました。

今年度は、6 月 19 日に旭丘小学校 5 年生が野菜の生産者とともにふれあい給食を楽しみました。


また、1 月 24 日には旭小学校 3 年生の児童がイチジクの生産者とともに、尾張旭市産のイチジクをジャムにして使用した「イチジクタルト」を給食メニューとしていただきました。

各校では、地産池消を啓発するため市内産タマネギや県内産の食材を PR するポスターを張り、校内放送で伝えたりしました。



[活動の成果、今後の課題]

地域の農産物や食文化に理解を深めてもらうことができました。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	 食を通じて豊かな心を育むために	3 食文化や食事作法等の理解と継承
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

学校給食への地場産野菜の供給

取組主体: 長久手市
長久手給食食材生産会

連携団体: (株)長久手温泉

実施時期: 通年

実施場所: 長久手市

対象及び参加人数: 市内小中学校生

[取組の内容] キーワード：小中学生、地元農産物、伝統野菜、学校給食

長久手市、長久手給食食材生産会（平成 23 年 3 月設立）及び（株）長久手温泉（アグリ事業部）が連携し、地場産野菜を学校給食へ安定的に供給しています。

市内農家の任意団体である長久手給食食材生産会は、学校給食に安心安全な野菜を供給するため、長久手独自の生産管理工程（N-GAP）による野菜栽培を行っています。

また、長久手市の伝統野菜である「真菜（まな）」を自家採取、栽培し、給食の食材として供給しています。



長久手の伝統野菜の真菜



学校給食用の野菜の生産者

[活動の成果、今後の課題]

平成 24 年度は、4,293kg（2 月末日まで）の長久手産野菜を納入しました。

今後は、納入量をさらに増やしていくとともに、子どもやその保護者に対し、安心安全な長久手産の野菜の PR に努めていきます。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	3 食文化や食事作法等の理解と継承
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

愛知を食べる学校給食の日

取組主体: 長久手市（愛知県内の全市町村）

実施時期: 平成 24 年 6 月 19 日（火）他 2 回 **実施場所:** 長久手市

対象及び参加人数: 市内の小中学校の児童、生徒及び教職員約 5,380 名

[取組の内容] キーワード：愛知を食べる学校給食の日、小中学生、地元農産物、伝統野菜

長久手市では、学校給食において「愛知を食べる学校給食の日」を食育月間の 6 月 19 日、旬の食材が豊富な秋の 11 月 15 日、「全国学校給食週間」が行われる 1 月 29 日の 3 回実施しました。

地場産物を多く取り入れた献立を実施し、給食だよりに地元で採れる野菜や生産者、郷土料理等を紹介し、児童生徒への啓発や保護者への協力の呼びかけを行いました。



[活動の成果、今後の課題]

学校給食における地場産物を使用する割合が増加しました。（平成 24 年度愛知県産 38.2% 前年度より増加しました）

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	3 食文化や食事作法等の理解と継承
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		

学校給食への地場産物の活用

取組主体: 長久手市 **連携団体:** 長久手給食食材生産会
長久手市役所田園バレー事業課

実施時期: 平成 25 年 1 月 25 日 (金) 他 2 回 **実施場所:** 長久手市

対象及び参加人数: 長久手給食食材生産者会の生産者、
市役所田園バレー事業課職員、給食センター職員 14 名

[取組の内容] キーワード：学校給食、給食食材生産会、給食だより、生産者交流

長久手市では、給食センターで使用する食材の使用分の確保や規格を統一するために平成 23 年度に長久手市給食食材生産会が設立され、食材の品目ごとに規格の点検項目を作成し、品質管理を行う体制が整えられました。

毎月の献立表で地元産の食材及び生産者の方々の紹介を行い、学期ごとに発行する給食だよりでは農作物の栽培の様子や生産者の方々の写真を載せ、地元産の食材や生産者の方々が身近に感じられるようにしています。

生産者の代表、市役所田園バレー事業課、給食センターの 3 者で現状や問題点を話し合う場を学期に 1 回設け、お互いの理解を深める機会を設けています。今年度第 3 回目の会議の前には長久手で作られた「真菜(まな)」を使った給食の試食を行い、意見交換を行いました。



[活動の成果、今後の課題]

給食を作っている様子の見学、給食ができるまでの説明を聞いていただき、給食の試食を行い、給食について理解していただく機会となりました。

生産者会議は今後も定期的に行いたいと考えています。

【ライフステージ】		【取組の場面】		【プランの取組体系】	
乳幼児期	少年・青年期	保幼	学校	食を通じて豊かな心を育むために	3 食文化や食事作法等の理解と継承
壮年・中年期	高齢期	職場	地域		